034 大島小学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践(教育活動の方向性)

中学校区の目指す子ども像	ふるさと大島を愛し、心やさしく、たくましい大島っ子
本校の目指す子ども像	・主体的に学び、かかわり合いながら深く学ぶ子ども ・温かく仲間とかかわり、ともに高め合う子ども ・自ら望ましい生活習慣を身に付け、進んで運動する子ども



		- H H N H					
	小中一貫教育の具体的な取組						
	本校の取組	中学校区の取組					
	・校長が、「大島区小・中・保育園情報共有	・保小中での子どもたちの育ちや学びに					
実	会議」に出席したり、管理職が訪問参観	ついて協議し、一連の学びのイメージ					
現に	したりすることで、中学校と保育園の状	を共有する。					
向	況や取組などの情報を共有する。						
けけ	・小学校移行学級や中学校入学説明会等を						
た	通して、園児・児童・生徒の交流を行う。						
重点的	成果○と課題■	成果○と課題■					
	○管理職間の情報共有により、各種行事の	○保小中における子どもたちの育ちと、					
な	もち方や保護者への連絡等、小・中同一	保小中の学びをイメージ化することが					
取	歩調で行うことができた。	できた。					
組内	■年間指導計画の評価・改善を行い、「いき	○東頸中学校の開校に伴い、小中一貫教					
容	いき大島活動 (生活・総合学習)」を展開	育に関連する事項について、管理職・					
	することで、大島区でただ1つの学校と	教務主任レベルで連絡・調整を行った。					
	して、大島区の魅力を小学校段階で一層	■大島保小の学びに東頸中の学びを盛り					
	実感できるようにする。	込んだグランドデザインを作成し、成					
		果と課題を共有していく。					

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組(地域とともにある学校づくり実践)〉

主な活動内容			
2年)			
目指			
す子ども像の実現に有効であった			
)			
F			

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

	学校運営協議会の委員の構成												
教職員	2 /	保護者	2人	住 民	6 J	その	他	2 人	合割	12人			
学校運営協議 会の回数 ※()は、		本校単独	1 学期	回 ()	2 学期	回 ()	3学期 (□)	合計 回 ()			
回数内にお書面協議回	: :ける	中学校区合同 ※中学校区で 同数にする	1 学期	1回	2 学期	1回()	3 学丼	期 1)	合計3回			

活動の内容

- ・学校行事や授業を参観し、教育活動の状況を把握した。
- ・学校の困り感を共有し、地域の理解と協力 を得られるように取り組んだ。

成果○と課題■

- ○子どもたちの主体性・社会性を育むための 取組について情報共有し、肯定的評価をい ただいた。
- ○コーディネーターから地域の方に声掛けいただき、地域の方からプール清掃の補助や雪像づくり(地域行事)の土台作りをしていただいた。
- ■現在地域とともに取り組んでいる活動を 無理なく継続していけるように学校運営 協議会として支援していく。

地域とともにある学校づくりの総括及び教育委員会への要望・意見

学校を取り巻くさまざまな状況の変化に対応し、教職員の働き方改革を含めて、年々教育活動の見直しを図ってきている。慣例にこだわらず、状況に応じて本質を捉えた教育活動を実施していくことが教育の質を高めることにつながっていくことを感じた。

〈活動写真〉





- ○**雪割太鼓の継承(5・6 年)** 地域の先生を講師に招い て太鼓の練習を行い、運 動会で堂々と発表した。
- ○縦割り班遠足(全校) 学区を回る遠足を企画 し、地域の方からも協力 いただいた。





- ○野菜作り(1・2年)畑の先生として地域の方から野菜の育て方を学んだ
- ○**大島を知ろう**(5・6年) 大島区に移住した方と「大 島の魅力」を話題に交流し た。





- 〇プール清掃
 - 子どもたち・保護者・地域 の方が協力して、プール 清掃を行った。
- ○夢・志を育む講演会(全校) 落語家をお招きし、「好きな ことに挑戦してほしい」とメッ セージをいただいた。